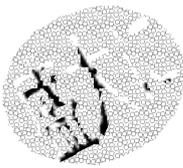


2013年3月3日



3市議の新年会

楽しく



男性2人も加わった飯島光豊後援会
員によるフラダンス
(於：渡場すこやか館)



挨拶・市政報告をする柳川ひろみ
市議 (於：中央区公民館)



挨拶する山口後援会長と前沢けい子
市議(左) (於：有報堂)

捨て場所のない核廃棄物

「六ヶ所村通信」の映画会

さよなら原発
上伊那の会

さよなら原発上伊那の会は2月17日、南箕輪で「六ヶ所村通信 4」の映画とトークの集いを開催。70名余が参加しました。

映画は鎌仲ひとみ監督の作品で、青森県六ヶ所村にある原子力発電所の使用済み核燃料の再処理施設を巡って、「放射能汚染をなくし、自然環境を守ろう」との全国各地での取り組みを紹介したものです。映画の後、さよなら原発上伊那の会から3月10日・4回目の「脱原発デモ」の取り組みなどの活動報告と「放

射能測定伊那谷市民ネットワーク」、「子どもたちを放射能から守る信州ネットワーク」の関係者らから訴え、お知らせと、福島県から南箕輪村に避難中の方から苦難の体験が話されました。伊那市から参加した40代男性は、「核廃棄物の捨て場が無いとは驚きました。原発の再稼働は絶対ダメですね」と、また、60代女性は「原発や放射能を無くそうと地道に取り組みなければ」と思いました」と感想を述べていました。

NEC裁判が結審

判決は3月29日に

NECライティング伊那工場が2010年に136人を解雇、工場閉鎖したことで、伊那市が同社に支払った補助金と工場用地・周辺整備費など約10億円が無駄になったと、伊那市民の有志が伊那市に対して、同社に補助金全額返還や損害賠償を求め

ている裁判の弁論が22日、長野地裁で行われ結審しました。原告側は「これまで、証拠を元にNECラ社の理不尽な態度や被告側の無責任極まる姿勢を批判。22日は、原告側の松村弁護士が「NECラ社問題で、裁判所がメスをいれないければ、誰も責任を取らない」「無責任な追従がくり返される」などの意見を述べ、市川代表は、

ガソリンスタンドは今

消防法の改正で、ガソリンスタンドの地下タンクなど40年以上のものは今年2月1日までに内面ライニング等、改修が義務付けられました。伊那消防署管内で義務対象のものは約59本。高額の費用をかけた措置済みのタンク等は28本です。ガソリンの需要減や過当競争などで閉鎖される所があるのではといわれています。

JAU上伊那では手良・宮田・南向のスタンドが対象になり、手良はどうするか今検討中。地元住民は「閉鎖にならなければよいが」と心配しています。

監督請求と住民訴訟の2年近くの取り組みと市民の怒りや激励の一部を紹介し、NECラ社の問題を市民が知らされたのは2010年11月以後であり、「裁判の『時効』はありえない」との意見陳述を行いました。判決は、3月29日午後1時30分。



最終公判への参加者

福島県の農民を支援

上伊那と中川の農民組合

上伊那と中川の農民組合は1月26日、福島県相馬市で震災支援の活動を行いました。

これは大津波で、5千俵のコメと倉庫や事務所を流失するなど甚大な被害を受けた福島県の浜通り農民組合を支援しようとして、組合員に呼びかけ、寄せられたコメ5俵とリン



ゴやホーレン草、じゃが芋など8種類の果物や野菜を8人の代表が車で直接届けたものです。

浜通り農民組合が運営していた直売所「野馬土(のまど)」で支援のコメや野菜を販売し、売上金は同農民組合に寄付しました。さらに上伊那特産の白毛もち米を使った餅つき大会ではあんこ餅を、また、中川特産のキノコを入れたキノコ汁を訪れたお客様にサービスし、大変喜ばれました。

竹上一彦事務局長は「福島県の農民たちは“放射能の検査済みなのに、

窓の市議

伊那中央病院の
伊那市負担軽減

柳川ひろみ

昨年、伊那中央行政組合議会で、何度も質問をしてきたことが実現できそうです。

伊那中央病院は、国や県からの交付金や補助を受けて大幅な黒字経営となつています。本年度も7億円の黒字予測が出ています。

私は「大幅な黒字なので自治体の負担を減らすべき」と議会で何度も質問してきました。

3月の中央行政組合議会で伊那市・南箕輪村・箕輪町の負担金を大幅に減額する予定と聞き、大変うれしく思っています。

貴重な財源を市民の福祉や医療の向上に使って欲しいものです。



今でも風評被害で福島県の農産物はなかなか売れない。本当に悲しい」と



白毛餅のおしるこを試食する

ました。引き続き、東北のみなさんを全力で支援していきます」と話していました。

続いて、2月16日にも宮城県石巻市の仮設住宅で宮城農民連とともに支援活動を行いました。これは2月17日付の赤旗日刊紙の1面に大きな写真入りの記事で紹介されました。

公共交通改善の会

「のぞみの会」

「あなたが地域の主人公」をめざす自主組織「のぞみの会」は、伊那市の公共交通について「提言をするには現状調査が必要と、2月5日に市役所の担当者と面談をしました。

総務部企画情報課からはバス路線による循環バス・デマンドタクシーなどについて、保健福祉部高齢者福祉課からは移送サービス利用助成券交付事業・高齢者福祉券交付事業

「上伊那のゴミ問題」を

一緒に企画しませんか

2月23日、のぞみの会が呼びかけたゴミ問題相談会で「全国で『大型炉は故障してる。修理に莫大な費用がかかる』との報道が目につくようになったね」「広域の焼却炉の勉強をしましょう」などの発言が相次ぎました。

引き続き勉強会をもつことになりました。誰でも参加できます。

とき 3月9日(土)

午後2時 4時

ところ 中央区公民館

問い合わせ のぞみの会

(74) 5826・井口

などについて、保健福祉部社会福祉課からは自動車燃料費・タクシー利用補助券、タクシー会社・福祉有償運送団体による移送サービス、ボランティア移送事業などについてそれぞれ説明がありました。

「のぞみの会」側からは、「いろいろな事業があるが市民に周知徹底されていない面があるので有効に活用されていないのではないか」「審議会でもある伊那市地域公共交通協議会へも委員の公募により市民の生の声が反映されるように」等の要望や意見がありました。

随想

「赤旗」と南京大虐殺

西春近 池上 義郎(93才)

先日の「しんぶん赤旗」日刊紙に、南京大虐殺の史料館(中国南京市)への日本人の入館者が、3万人を超えたとの記事がありました。それについて思い出すことがあります。

それは、一九九一年九月十九日の「赤旗」日刊紙に、当時の自民党の担当大臣が「南京大虐殺は中国のデッチ上げで実在しなかった」と発言したことを受けて、「日本の中国侵略の事実、南京大虐殺(一九三七年十二月十三日)の事実をごまかそうとする動きは許せないから」と、岡山市の主婦が、「亡父のアルバムを平和のために使って」と、「赤旗」紙に提供したことを知らせる記事が載ったことです。

アルバムの持ち主は岡山県矢掛町出身の坂本多喜二さん(前年六月死去)ですが、当時は衛生兵伍長として南京の兵站病院に派遣され、一年間南京において、愛用のカメラで南京の様子など撮っていたそうです。

そこには、中国人捕虜を戦闘帽をかぶった日本兵が、銃剣で突かんとする写真など、虐殺を証明する多くの写真が残されているそうです。

私は、「赤旗」に載った写真を拡大して額に入れて、今でも大切に保管しています。



「赤旗」紙上に載った写真
撮影：坂本多喜二さん
(インターネットより)

催し案内

第9回伊那夜の街オリエンテーリング

3月6日(水)

受付時間：午後6時～6時45分

伊那市セントラルパーク集合

スタート：午後7時

参加券：3000円(当日販売なし)

主催：上伊那民主商工会 後援：伊那市

問合せ：実行委員会(72 0550)

さよなら原発上伊那の会

4回目のデモ行進

3月10日(日)10時～12時

場所：いなっせ北側広場集合

連絡先：上伊那医療生協(79 8702)

重税反対全国統一行動

「上伊那地区集会」

3月14日(木) 午前9時開会

いなっせ6階大ホール

持ち物：申告書類・印鑑・筆記用具他

主催：「3.13重税反対伊那地区連絡会」

連絡先：上伊那民商(72 0550)

絵手紙

手良 向山 光子



憲法学習会

「今、なぜ憲法9条か」

講師 宮下与兵衛氏(高校教諭)

3月24日(日)午後1時30分～
ところ：東春近ふれあい館2階研修室

主催：東春近9条の会準備会

安倍首相の言う「国防軍」とは？

「集団的自衛権」てなに？

1から学びましょう。参加費はただです。

どなたでも参加できます。

連絡先：横田(75-4325)

上伊那地区委員会ホームページ作成！

「JCP上伊那」で検索すると出てきます。ご覧ください。